

〈福島県中地方振興局長賞〉

「サギと税金」

須賀川市立第二中学校 一年 阿部 愛央

小さい時に私は、父と自転車の練習もかねて家の近くの道路にサイクリングに行っていました。そこは、くねくね曲がる川と歩道がせまい道路でした。周りに田んぼがあり、そこに来るサギを見るのがいつも楽しみでした。それが、数年前から道路と河川工事が始まってしまいました。そのため、サイクリングにも行けずサギの姿を見ることもできなくなってしまいました。道路も傷んでいるわけでもなく、川も特に気になる所が無かったので、どうして工事が始まったのかと不思議に思いました。調べてみると、その川は台風や大雨が降ると氾らんしてしまい、付近の住宅が浸水の被害にあっていました。そういう災害を無くすための大工事だと分かりました。工事では、仮の橋ができた、道路が何回も変わっていて、そこに多額の税金が使われているんだなと感じていました。そこで、どんな税金が使われているのかを調べてみました。

税金の中の一般歳出には「社会保障関係費」や「公共事業関係費」などがあり、道路や河川の整備のために使われるのが公共事業関係費というものでした。もし、この工事を民間企業だけで行っていたら、なかなか道路が繋がらないし、道路を通るだけでも通行料を払わなければならなくなります。また、道路の状態を民間企業に任せていたら、道路の状態が悪くてもそのままになり、事故などが起きてしまうかもしれません。民間企業は利益が無ければ動くことができません。道路は、多くの人が共通に利用するもので利益を求めるものではありません。だから、整備の必要な道路や河川の工事は国や県や市町村が行っている事業なのだと思います。

多額な税金を使っても行う公共事業は、私達の住みよい環境・豊かな生活環境を作るためにも必要な事業だと思います。その環境を作るためにも税金は無くしてはならないものなのです。私は税金をはらうことで、何のメリットがあるのかと思っていました。しかし、いつも使っている教科書やパソコンなどは、学校生活に必要なものを無しうで

配布してくれたり、健康を守り安心して生活するためにワクチンを接種することができたり、私達の生活は税金で支えてもらっています。つまり、税金を納めるということが、いつもの生活を送る支えになること、みんなの未来につながることなのだと思います。大切に使って、だれかが納めてくれた税金の無だがないような社会になってほしいです。